

## 令和6年度入学試験問題

### 受験上の注意

1. 監督の指示により，解答用紙に受験番号（算用数字），氏名，フリガナ，解答する科目を記入し，受験番号，該当する試験日，解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
3. 科目およびページは，次のとおりです。試験開始の合図があったら，まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～16
世界史	18～39
地理	42～67
政治・経済	68～83

4. 受験票を試験時間中は，机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問，その他用件があるときは，手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退場は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

# 日本史

〔 I 〕 次のア・イの文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答番号は

~

ア 9世紀には、中国の歴史や漢詩を学ぶための  がさかんになった。嵯峨天皇は『凌雲集』、『文華秀麗集』、 天皇は『経国集』を勅撰漢詩集として編纂させた。朝廷や貴族たちは学問を国家経営に不可欠と考え、子弟を大学で学ばせるため、藤原氏の  や橘氏の  などの大学別曹が設けられた。一方、 は、庶民の教育を目的として綜芸種智院を設置した。

問1 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 明経道    ② 明法道    ③ 紀伝道    ④ 算道    ⑤ 陰陽道

問2 アの文章の  に入れるのに最も適切な天皇を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 平城    ② 醍醐    ③ 桓武    ④ 村上    ⑤ 淳和

問3 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 勸学院    ② 奨学院    ③ 学館院    ④ 施薬院    ⑤ 弘文院

問4 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 勸学院    ② 奨学院    ③ 学館院    ④ 施薬院    ⑤ 弘文院

問5 アの文章の  に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 曇徴    ② 空海    ③ 旻    ④ 観勒    ⑤ 円珍

イ 10世紀ごろ、大陸文化を基礎として日本人の嗜好をくわえた文化の国風化がおきた。その象徴がかな文字で、国文学の発展をもたらした。905（延喜5）年、日本初の勅撰和歌集『』が編まれた。これ以後、鎌倉時代初期の『新古今和歌集』まで、『』をふくめてつの勅撰和歌集が編まれた。和歌はひろく朝廷・貴族社会の人々に愛され、<sup>h</sup>六歌仙とよばれる名手を生み出したほどであった。また、かなによる物語文学が数多く作られた。による『源氏物語』や、在原業平を主人公としたといわれる最初の歌物語『』はその代表作である。

問6 イの文章のに入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 千載和歌集                      ② 詞花和歌集                      ③ 金葉和歌集  
④ 古今和歌集                      ⑤ 金槐和歌集

問7 イの文章のに入れるのに最も適切な数字を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 2                      ② 3                      ③ 4                      ④ 6                      ⑤ 8

問8 イの文章の下線部hに「六歌仙」とあるが、六歌仙にふくまれる歌人として最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 喜撰                      ② 最澄                      ③ 円仁                      ④ 空也                      ⑤ 源信

問9 イの文章のに入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 和泉式部                      ② 紫式部                      ③ 菅原孝標の女  
④ 清少納言                      ⑤ 藤原道綱の母

問10 イの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

① 竹取物語

② 栄花（華）物語

③ 伊勢物語

④ 土佐日記

⑤ 宇津保物語

〔Ⅱ〕 次のア～エの史料を読んで、それぞれの設問に答えなさい（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある）。解答番号は  ～

ア a 去々年の兵乱以後、諸国の庄園郷保に補せらるる所の地頭、沙汰の条々

一、得分の事

右、せんじ 宣旨の状の如くば、けりょう 仮令、田畠各十一町の内、 町は領家国司の分、 町は地頭こうはくきょうしょうの分、こ 広博狭小を嫌はず、りつぽう 此の率法を以て免給めんきゅうの上、かちょう 加徴は段別に 升を充て行はるべしと云々。尤も以て神妙。…

貞応二年七月六日

前陸奥守 判

相模守殿

（山川出版社『詳説 日本史史料集 再訂版』より作成）

問1 アの史料の下線部 a に「去々年の兵乱」とあるが、この兵乱として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 平治の乱                      ② 治承・寿永の乱                      ③ 承久の乱  
④ 宝治合戦                      ⑤ 霜月騒動

問2 アの史料の 、 に入れる数字の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① b—十      c—一  
② b—七      c—四  
③ b—六      c—五  
④ b—五      c—六  
⑤ b—一      c—十

問3 アの史料の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 三                      ② 四                      ③ 五                      ④ 六                      ⑤ 七

問4 アの史料の下線部eに「前陸奥守」とあるが、当時の執権であるこの人物がおこなったこととして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

14

- ① 評定衆を設置した。
- ② 御成敗式目を制定した。
- ③ 宗尊親王を将軍に迎えた。
- ④ 和田氏を滅ぼした。
- ⑤ 建長寺を創建した。

イ 一、寺社本所領の事 観応三・七・二十四御沙汰

諸国<sup>じょうらん</sup>擾乱に依り、寺社の荒廢、本所<sup>ろうろう</sup>の牢籠、近年<sup>しか</sup>倍增せり。而るに<sup>たまたませいひつ</sup>適静謐の国々も、武士<sup>らんすい</sup>の濫吹<sup>いま</sup>未だ休まずと云々。…

次に近江・・尾張三ヶ国の本所領半分<sup>ひょうろうりょうしよ</sup>の事、兵糧料所として、当年一作、軍勢<sup>あず</sup>に預け置くべきの由、守護人等<sup>あいふ</sup>に相触れ<sup>おわ</sup>訖んぬ。半分に於いては、宜しく<sup>よろ</sup>本所に分ち渡すべし。

問5 イの史料が発布された時期に最も近い出来事として適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 15

- ① 北条時行が反乱をおこして鎌倉を占領した。
- ② 足利尊氏派と弟の直義派の武力衝突がおこり、直義は敗死した。
- ③ 六分一衆とよばれた山名氏清らが滅ぼされた。
- ④ 新田義貞が鎌倉を攻め、鎌倉幕府が滅亡した。
- ⑤ 足利尊氏が征夷大將軍に就任した。

問6 イの史料のに入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 16

- ① 筑後
- ② 下野
- ③ 石見
- ④ 伊予
- ⑤ 美濃

問7 イの史料の内容について説明した文章X・Yを読んで、以下のようにマークしなさい。 17

- X・Yがともに正しい場合は ①                      Xが正しくYが誤りの場合は ②  
Xが誤りでYが正しい場合は ③                      X・Yがともに誤りの場合は ④

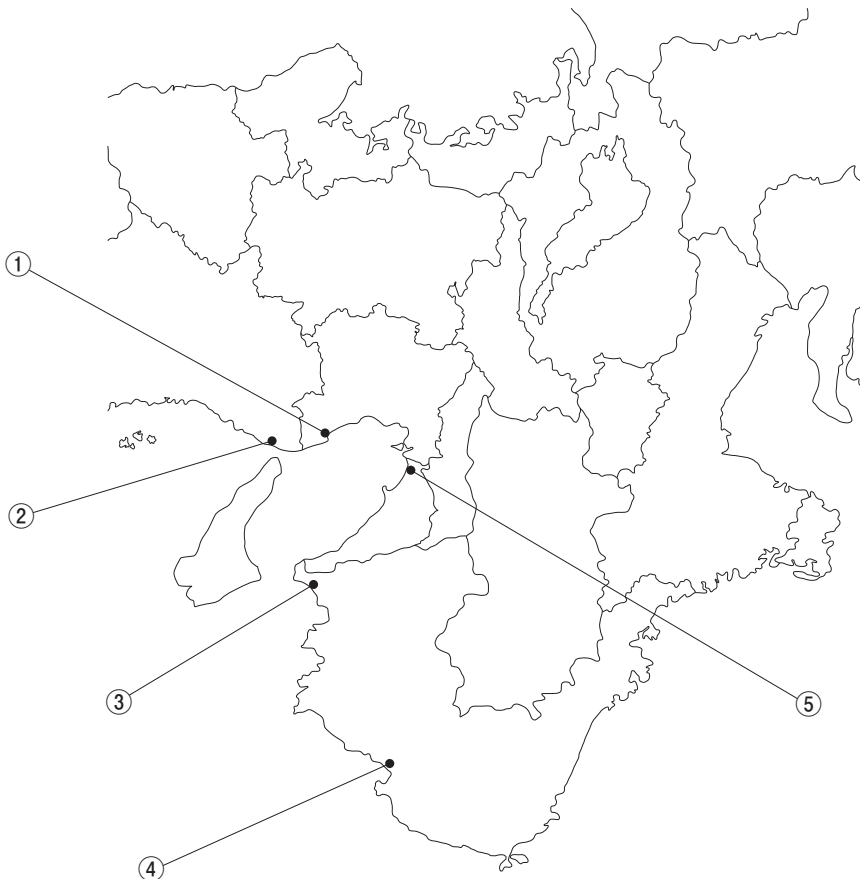
- X 3か国で1年に限り、軍費調達のため、荘園年貢の半分を徴収する権限を守護に認めた。
- Y 3か国で1年に限り、荘園年貢の半分の徴収を、守護に請け負わせることを定めた。

ウ g 堺の町は甚だ<sup>はなは</sup>広大にして大なる商人多数あり。此町はベニス市の如く<sup>この</sup> h 執政官に依りて治めらる。

エ 日本全国当 g 堺の町より安全なる所なく、他の諸国に於て<sup>おい</sup> 動乱あるも、此町には<sup>かつ</sup> 管て無く、敗者も勝者も、此町に来住すれば皆平和に生活し、諸人相和し、<sup>あいわ</sup> 他人に害を加ふる者なし。…町は甚だ<sup>けんご</sup> 堅固にして、西方は海を以て、又他の側は深き堀を以て囲まれ、常に水充滿せり。

問 8 ウ・エの史料の下線部 g に「堺の町」とあるが、その場所として最も適切なものを、【地図】中の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 18

【地図】





問9 ウ・エの史料の下線部gに「堺の町」とあるが、町の運営に関して同様の特徴をもった戦国時代の都市として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 19

- ① 十三湊                      ② 博 多                      ③ 長 崎  
④ 平 戸                      ⑤ 草戸千軒町

問10 ウの史料の下線部hに「執政官」とあるが、その名称として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 20

- ① 年行司                      ② 会合衆                      ③ 沙汰人  
④ 名 主                      ⑤ 町年寄

〔Ⅲ〕次の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答番号は 21 ～

30

江戸時代の都市は町によって構成され、各町には町役人がいたが、大坂では、各町に a，都市全体（惣町）には b がおかれた。役負担としては、町ごとに村の本年貢に相当する c や、都市機能を維持するための町人足役などが課せられたが、c は免除されることもあった。また、江戸では町入用（町費）が集められ、町の運営に利用されたが、その後 d 七分積金という制度がはじめられた。

都市のなかでも、三都は当時世界有数の大都市であった。江戸は18世紀前半に人口約 e 万人前後の最大の消費都市となり、幕府の諸機関や旗本・御家人屋敷、藩邸が集中した「将軍のお膝元」で、武家の人口が約半数を占めた。

大坂は「天下の台所」といわれた最大の物資集散地として栄えた大商業都市であった。諸藩の蔵屋敷が多数おかれ、蔵元・掛屋とよばれる商人が蔵物の販売にたずさわったほか、f 納屋物の販売もさかんであった。また、江戸・大坂には、主要商品ごとに専門の卸売市場が設けられ、g の米市場はその相場を幕府に公認された。

京都は天皇・公家が住み、著名な寺社が集中し、h 西陣織や京染などを代表とする高度な技術による手工業生産が発達した。

一般的に都市の生活水準は、農村に比べて高く、芝居・遊山・祭礼などの娯楽の機会も多かった。たとえば、芝居は、17世紀中期以降、野郎歌舞伎の時代となり、江戸では荒事、上方では i 和事や女形の名優が人気だった。

しかし一方で、都市には棟割長屋に住み行商や日雇いでその日を送る下層民も多数いた。彼らは凶作による米価高騰などの影響を受けやすく、江戸中期以降は打ちこわしの主体となり、j 江戸・大坂など全国30余りの主要都市で打ちこわしがあいついでおこった。それに対して、k 幕府は江戸に流入した貧民への対策をおこなったが、成果は上がらなかった。

問1 文章の  ,  に入れる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

- ① a 一町名主      b 一惣年寄
- ② a 一町年寄      b 一惣年寄
- ③ a 一月行事      b 一町年寄
- ④ a 一町名主      b 一町年寄
- ⑤ a 一町年寄      b 一町名主
- ⑥ a 一月行事      b 一町名主

問2 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 高掛物      ② 本途物成      ③ 小物成      ④ 国役      ⑤ 地子

問3 文章の下線部 d に「七分積金という制度がはじめられた」とあるが、その制度が施行されたときの元号として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 元禄      ② 正徳      ③ 享保      ④ 寛政      ⑤ 天保

問4 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 1      ② 5      ③ 10      ④ 100      ⑤ 1000

問5 文章の下線部 f に「納屋物」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 領主の購入品      ② 蔵屋敷に送られた年貢米
- ③ 特産物の貢納物      ④ 俵に詰めた海産物
- ⑤ 一般商人の扱う商品

問6 文章の g に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 26

- ① 江戸日本橋                      ② 江戸神田                      ③ 大坂雑<sup>ざ</sup>喉<sup>ご</sup>場  
④ 大坂天満                      ⑤ 大坂堂島

問7 文章の下線部 h に「西陣織」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 27

- ① 晒<sup>さらし</sup> という純白の麻織物  
② 細かいしわのある縮<sup>ちぢみ</sup> という麻織物  
③ 縦縞<sup>しま</sup>を特徴とした綿織物  
④ 緋<sup>かすり</sup> という文様のある綿織物  
⑤ 高機<sup>たかばた</sup>で織られた金襴<sup>きんらん</sup>・緞子<sup>どんす</sup>などの絹織物

問8 文章の下線部 i に「和事」とあるが、その名手として最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。 28

- ① 芳沢あやめ                      ② 坂田藤十郎                      ③ 市川団十郎  
④ 市川左団次                      ⑤ 尾上菊五郎

問9 文章の下線部 j に「江戸・大坂など全国30余りの主要都市で打ちこわしがあいついであった」とあるが、それが起こったときの元号として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 29

- ① 享保      ② 宝暦      ③ 明和      ④ 天明      ⑤ 天保

問10 文章の下線部 k に「幕府は江戸に流入した貧民への対策をおこなった」とあるが、天保の改革においておこなった政策として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 30

- ① 儉約令                      ② 風俗統制令                      ③ 人返しの法  
④ 旧里帰農令                      ⑤ 棄捐令

〔Ⅳ〕次の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答番号は  ～

<sup>a</sup>戊辰戦争の進行と並行して、明治新政府は強力な国家を建設するために近代的な中央集権体制の確立をめざした。まず、没収した旧幕府領を直轄地として府県をおいたが、大名を領主とする諸藩はそのまま存続していた。このため新政府は、残された諸藩も徐々に直接統治に組み込む方針を立て、1869年1月、薩摩・長州・土佐・の4藩主に版籍奉還を出願させた。新政府は同年6月に、これら以外の全藩主にも版籍奉還を命じる一方、旧大名には石高にかえて年貢収入の分の1にあたる家禄を与え、さらに旧領地の知藩事に任命して藩政にあたらせた。

しかし、権力の集中という点ではあまり効果はなく、また新政府は限られた直轄地から厳しく年貢を徴収したため、御一新を期待した人びとの不満はつのもり、農民一揆がしきりにおこった。これを受けて新政府は、藩制度の全廃をついに決意し、年7月に<sup>e</sup>廃藩置県を一挙に断行して、全国の政治的統一が達成された。

また、これと同時に官制改革も進められた。版籍奉還の際に政体書による太政官制は改められ、祭政一致・天皇親政の方針から大宝令の形式を復活して、を太政官の外におき、太政官のもとに各省をおく組織となった。ついで廃藩置県後の官制改革では、太政官を正院・左院・右院の<sup>g</sup>三院制へと改めた。新政府内では、太政大臣ら少数の公家とともに、<sup>i</sup>特定の藩出身の若き実力者たちが要職について実権を握り、のちに藩閥政府と呼ばれる政権の基礎がほぼ固まった。

さらにこの頃には、封建的身分制度の撤廃も進められ、いわゆる<sup>j</sup>四民平等の世になった。

問1 文章の下線部 a に「戊辰戦争」とあるが、これに関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 31

- ① 1868年1月の鳥羽・伏見の戦いで、徳川慶喜を擁する旧幕府側は新政府軍に敗れ、慶喜は江戸に逃れた。
- ② 新政府は慶喜を追討するため東征軍を江戸に向けて進撃させ、1868年4月には江戸城を無血開城させた。
- ③ 東征軍は官軍とも呼ばれ、豪農・豪商がみずから組織した義勇軍を率いて参加した。
- ④ 東征軍は、奥羽越列藩同盟を結成した東北諸藩の抵抗を打ち破り、1868年9月には会津若松城を攻め落とした。
- ⑤ 箱館の五稜郭に立てこもっていた勝海舟らは、1869年5月に降伏した。

問2 文章の b に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 32

- ① 水戸      ② 越前      ③ 肥前      ④ 紀伊      ⑤ 会津

問3 文章の c に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 33

- ① 2              ② 3              ③ 5              ④ 10              ⑤ 20

問4 文章の d に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 34

- ① 1869      ② 1870      ③ 1871      ④ 1872      ⑤ 1873

問5 文章の下線部 e に「廃藩置県」とあるが、これに関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 35

- ① すべての藩は廃止されて府県となった。
- ② 旧大名である知藩事は罷免されて東京在住を命じられた。
- ③ 御親兵をつのり、軍事力を固めた上でおこなわれた。
- ④ 中央から府知事・県知事が派遣され、地方行政にあたることとなった。
- ⑤ 廃藩置県断行時には3府302県あったが、同年11月には3府72県に整理された。

問6 文章の f に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 36

- ① 行政官
- ② 神祇官
- ③ 議政官
- ④ 刑法官
- ⑤ 軍務官

問7 文章の下線部 g に「三院制」とあるが、これに関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 37

- ① 正院は太政大臣・議定・参与からなる太政官の最高機関。
- ② 左院は立法の審議機関。
- ③ 右院は各省の連絡機関。
- ④ 正院の下に各省がおかれた。
- ⑤ 民部省は廃止された。

問8 文章の h に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。 38

- ① 三条実美
- ② 大隈重信
- ③ 中山忠光
- ④ 岩倉具視
- ⑤ 大久保利通

問9 文章の下線部 i に「特定の藩出身の若き実力者たちが要職について実権を握り」とあるが、これに該当する人物と出身藩の組み合わせとして適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 39

- ① 人物—江藤新平      出身藩—薩摩藩
- ② 人物—山県有朋      出身藩—長州藩
- ③ 人物—後藤象二郎    出身藩—土佐藩
- ④ 人物—井上 馨      出身藩—長州藩
- ⑤ 人物—西郷隆盛      出身藩—薩摩藩

問10 文章の下線部 j に「四民平等の世」とあるが、これに関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 40

- ① 公家・藩主は華族とされた。
- ② 藩士・旧幕臣は士族とされた。
- ③ 農民・商人・職人などは平民とされた。
- ④ 1873年時点で、平民は全人口の75%ほどであった。
- ⑤ 平民も苗字を名のり、華族・士族と結婚することが認められた。